

## 太子高校の挑戦 その19

### 「アクティブ・ラーニング」の広がり！

本年度は、太子高校の「挑戦の年」と位置づけて「学力向上」「授業改善」に取り組んでいます。この通信で本校の取組みについてお話することで、太子高校の挑戦について知っていただければと考えています。

平成 28 年に入ってから、本校への授業見学や研究協議の申し込みが多くなっていることは、以前の校長通信でもお伝えしてきました。この他にも、本校の主幹教諭に対して、アクティブ・ラーニングの手法を用いた授業の進め方や効果についての講演依頼も多くなってきています。先日は、兵庫県立高校と和歌山県立高校の 2 校へ、立て続けに講師として出向きました。すでに、平成 28 年 5 月以降にも他県の高校からの「予約」が入っています。全国的に、アクティブ・ラーニングの輪が広がってきたことを実感します。どちらの学校でも、研修会の後では質問がひっきりなしに出て活発な意見交換が行われたと、報告を受けました。また、本校においてになった先生方が、自校でアクティブ・ラーニングの授業を実践した、その授業効果についても話しがあつたようです。1 校の取組みがさざ波のように広がっていくことは、なんと嬉しいことでしょうか。「怒濤の勢い」は衰えるのも早そうですが、「さざ波」の穏やかさは丁寧で確実な感じがします。本校の取組みがそういう広がりと呼び込んでいるのなら、願ってもないことです。

この外への広がりと共に、内への広がり深めるために、本校では 2 月から 3 月にかけて神奈川県、東京都、京都市の先進校へ学校訪問をお願いし、授業見学や研究協議を行ってきました。そして、この成果を全教師が共有しさらなる授業力の向上のための「職員研修会」を行いました。3 月 18 日(金)には、本年度最後の研修会が行われます。アクティブ・ラーニングは、教師が意識して取り組まなければ、「自習」「おしゃべりの時間」になりかねません。教師の研ぎ澄まされた言語感覚と生徒理解の感性が、授業中の生徒への働きかけに活かされてこそ、アクティブ・ラーニングの効果が現れると、私は考えています。そのためにも、新たな発見や学びのある職員研修会を大切にしたいのです。

平成 28 年度は、さらに洗練された授業が展開される太子高校になることを、ご期待ください。

## ONE SHOT



自転車置き場です。ガラとした空間が、ほんの少し春めいてきた陽光に暖められています。1 月の冬休み中に撮影したのですが、ゴミ一つ落ちていません。12 月の終わり頃には、部活動や補習などで登校した生徒もいました。1 月になってからも、同じように生徒達は登校しています。それでも、こんなにきれいに保たれています。学校の清潔さは、生徒や教職員の意識の高さと比例すると思っています。太子高校はステキです！

### 学校のカ・イ・ダ・ン

3 月 5 日(土)、西播磨県民局で地域貢献活動の発表会がありました。本校も、生徒会のメンバー二人が堂々と発表しました。その会が終了した後、来賓の方に東北復興支援のためのバス借り上げ方法や支援の在り方について、自分たちから質問に行っていました。本校生徒会の復興支援への本気を強く感じると共に、主体性と積極性がしっかり育っていると嬉しくなりました。ガンバレ、生徒会 